

人助け

元プロ野球選手に松井秀喜さんがいます。イチロー選手と並び、日本が誇る有名なプロ野球選手の一人です。プロ選手というのは、まわりからいろいろなことを言われるものです。しかし、松井選手がわるく言われたのを聞いたことがありません。なぜなのでしょう。

松井選手は、中学2年生のときから人の悪口を言ったことがないそうです。このような心の持ち主がいるのです。松井選手は、「人の悪口を言わない」ことを自分の信条（しんじょう）にしているのです。 *信条 堅（かた）く信じて守っていること

どうですか、皆さん。ある一部の人から、いやなことを言われる、陰で自分の気になることを言われた、無視されるなど、悩んだり、苦しんだりしたことはありませんか。また、何気なく、つい、友達の悪口を言って、そのときの自分の感情を出してしまったことはありませんか。

人は、自分が思いどおりにいかなかったり、苦しい立場にあったりするときに、ぐちとして外に出したり、そのことを他人のせいにしがちになります。そして、ややもすると、それは他人への悪口として表れることとなります。

しかし、悪口を言ったとしても、問題が解決するわけではありません。場合によっては、悪口が、その相手の耳に届き、状況がわるい方向に進むことにもなります。「悪口を言わない」ということで、他人を傷つけない、他人にいやな思いをさせないことにつながることを考えれば、人が救われることにもつながるわけです。

これは、「悪口を言わない」という、気持ちの持ち方や心構えだけでできる、お金のかからない人助けとも言えます。

皆さんの中には、人の悪口など言ったことがない、言わない人もいるでしょう。きっと強い人なのです。反対に、ついつい言ってしまう人もいるでしょう。少なくとも強い人ではありません。人は誰でも弱い部分をもっています。それが出てしまい、人を傷つけることがあるとしたら、考えなければなりません。

自分の心構え一つで人助けができるとしたら、松井選手、今ならば大谷翔平選手のように心がけてみるのもいいのではないのでしょうか。悪口を言わないことで人助けをする。それを長い期間にわたって続けることで、人間性が磨かれていきます。人柄ができ上がっていきます。そう考えると、生きていく上で、とても大切なことに思えてきます。